

第6学年1組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成26年6月18日(水) 5校時 6年1組

2. 議題 「1年生学校大好き集会をしよう」

学級目標

仲間とともに

3. 議題について

(1) 児童の実態 <男子17名、女子15名 計32名>

本学級の児童は、小学校に入学して以来、クラス替えをすることなく過ごしてきた。長い付き合いがあることから、お互いのこともよく分かっており、日頃から男女共に仲がよい。児童は6年生としての1年間で、より多くの思い出を胸に卒業を迎えたいと願っており、そのためには、一人一人が責任をもち全力で取り組んでいくこと、強い心をもって最後まで諦めずに乗り越えていくこと、32人の力で素敵な学級をつくっていくことを目指す必要があると考えた。これらのことに向かって、それぞれが力を尽くすのはもちろんのことであるが、すべてにおいて仲間とともにがんばりたい、仲間がいるからがんばれるという思いがあり、「仲間とともに」という学級目標になった。

学級会では、4月に「6年生で初めての集会を計画しよう」という議題で、6年生としての第一歩を全員で踏み出すために、仲間とともに協力する集会について話し合った。どのような内容であれば協力することができるのか、6年生のスタートにふさわしい集会にするためにはどうすればいいのかを真剣に考えながら話し合う姿が見られた。話し合いで決まった風船バレーボールをやる中でも、ルールの確認や工夫をして、全員がもっと楽しめるようなものにしようという気持ちも感じられた。5月に行われた運動会では、「仲間とともに 最高の運動会」を合言葉にして取り組んできた。その中で児童は、学校行事は6年生だけの力で成功するものではなく、全校の力が必要であると感じ、「運動会で全校の心を一つにするための方法を考えよう」という議題で話し合いを行った。そして、6年生の運動会に対する気持ちを伝えるメッセージカードを全学級に送ることに決まり、取り組んだ。また、2色に分かれて気持ちを引き締めるために、運動会前日の全校練習終了後には、赤白に分かれて円陣を組んで気合いを入れるということもした。運動会以外にもいくつかの行事を経験し、下河原小学校をよりよい学校にするために、先頭に立って歩んでいかなければならないという自覚と意欲が高まってきている。

これらの学級会では、一生懸命に意見を考えるものの、話し合いが停滞してしまったり、意見がかみ合わなかったりすることもあり、時間内に決めることができなかった。話し合いのめあてに沿って発言をしたり、友達の意見を聞いてつながりのある発言をしたりすることができるように支援しているところである。

(2) 議題選定の理由

児童は、4月になってから最高学年としての活動を積極的に行っている。その彼らが、今本気で話し合うことができる議題は、1年生に関することである。4月からの1ヶ月間、児童は給食と掃除を中心に1年生のお手伝いをしてきた。初めは遊びに行くような気軽な気持ちでいた子も、自分が今まで当たり前のようにやってきた活動が、1年生にとっては大変な活動であることを目の当たりにし、驚いていた。試行錯誤しながらお手伝いをしていく中で、少しずつ「1年生にできるようになってもらいたい」「しっかり教えなければ」という責任感も芽生えていった。自分が教えたことが出来るようになったことを心から喜び、「一生懸命に教えてよかった」と達成感を味わったり、1年生のがんばりを見て「6年生ももっとがんばらなければならない」「いい見本になりたい」と、新たな思いを口にしたりするよ

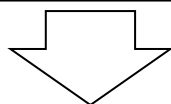
うにもなり、児童にとっては大きな経験となった。5月から1年生のお手伝いがなくなったものの、朝や休み時間に自主的に1年生の教室に行き、見守ったり一緒に遊んだりしている子が多くおり、「もっと1年生と関わりたい」「何かを教えてあげたい」と思っている。そこから、1年生にもっと下河原小学校を好きになってもらうために、学校のことを教えてあげたいという提案者の思いが出てきている。学校について紹介する活動を通して1年生と関わりをもつことは、6年生としての意識をより高め、今後たてわり班活動や委員会・クラブ活動にもつなげていくことができる。そして、何よりも現在の児童が本気で話し合いたいと思える内容であると考え、本議題を選定した。

4. 評価規準

集団生活や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の生活上の問題に関心を持ち、他の児童と協力して意欲的に日常生活や学習に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合って実践している。	みんなで楽しい学級生活をつくることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の計画的な進め方などについて理解している。

5. テーマとのかかわり

<p>テーマ： 夢や希望をもち、よりよい人間関係を築く特別活動</p> <p>サブテーマ： 自分もよく、みんなもよい</p> <p>～聞き合い、折り合い、分かち合い～</p>



高学年の目指す子ども像：

他者の考え方を受け止め、お互いのよさを理解し合い、高め合える行動がとれる子

教師の思い

今までの学級会では、「自分の意見に自信をもって発表しよう」、「友だちの意見のよいところを生かしていこう」「心配意見を解決して、プラスに変えていこう」と指導してきた。児童は、少しずつ自分の意見を伝えることや、友だち一人一人の意見を大切にすることを意識するようになってきており、つながりのある話し合いができるように取り組んでいる。

今回の話し合いでは、「紹介する方法」を考える柱2の話し合いを特に大切にしていきたい。学校について紹介するとき、ただ話をするのではなく、1年生と関わりながら紹介するということを重点において工夫させていきたい。そのことから、工夫することで1年生がより楽しく学校のことを知ることができることを実感させていきたいと考える。

また、提案者の思いや1年生のことを大切にしながら、32人で共にめあてに向かって話し合いを進めていきたい。そして、「自分もよく、みんなもよい」という考えのもとで集団決定をし、実践に向かって行ってほしい。実践を終えたときに、仲間とともに活動をやり遂げた達成感を味わい、「今度はこんなことをやってみたい」と、次回の学級会への意欲が高まることを願っている。

テーマに迫るための手立て

【事前活動】

○学級会コーナーの活用

事前に学級会コーナーに議題、提案理由、話し合いのめあてなどを掲示し、学級会に対しての意欲を高め、それぞれが自由に時間を使って話し合いについて考え、見通しをもって学級会に臨めるようにする。

○アンケートの実施

学級会コーナーに掲示しているものを見ながら、事前にアンケートを実施する。出された意見を計画委員と確認して、集約・整理していくことで、話し合いの柱1の「集める」段階の時間を短縮し、柱2の話し合いに時間を使えるように工夫する。また、集約した意見を事前に短冊に記入して掲示し、出ている意見を説明したり、分からないことを質問したりすることで、学級全体で意見の共通理解が図れるようにする。

○司会グループへの指導

話し合いの進め方の大切な点を確認するとともに、アンケートで出された意見の集約・整理をする活動をすることで、話し合いのイメージがもてるようにする。また、本番に近い形での練習では、司会台本を実際に使ったり、板書をしたりすることで、児童が自信をもって本番に臨めるようにする。

【話し合い活動】

○話し合いの可視化

話し合う内容に合わせて、賛成・心配マークや色分けした短冊を活用し、話し合いの流れが見えるようにする。短冊には、出てきた意見や理由を全て書くのではなく、話し合いのめあてに沿ったものや話し合いのポイントとなる部分だけを書くようにすることで見やすくし、黒板を見れば今何を話し合っているのかが分かるようにする。

○共有感のある話し合い

自分の考えを伝えるだけでなく、相手の思いを受け止めながら話し合うことができるようにしていきたい。そのために、自分の考えを相手に伝え、やり方を説明したり、可能な範囲で実際にやってみたりするなど、様々な方法で理解を深め合い、全ての意見をみんなで共有できるようにする。

○つながりのある話し合い

友だちの意見のよいところに共感する発言をしたり、友だちの考えに付け加えて意見を述べたりする姿を称賛し、つながりのある話し合いができるようにする。また、心配や反対意見が出たときには、それを解決するような意見を出せるように声をかけることで、様々な意見を出し合いながらよりよい考えを導き出せるようにしていく。

【実践活動】

○集団決定を実践（集団活動）へ

実践でも、話し合いの提案理由やめあてを思い起こし、それぞれがめあてをもって活動できるようにする。そして、準備の段階から一つ一つの役割に対して協力して取り組み、集団としての満足感や達成感が得られるようにする。

○ふりかえりの場

ふりかえりの場では、実践を通して学んだことや学級全体としてどうだったのか考えたことや感じたことを発表することで、友だち一人一人の思いをみんなで共有していき、学級全員でつくり上げた活動であることが実感できるようにする。教師の話の中でも、めあてを意識した児童の活動を価値づけし、次への話し合いや実践への意欲を高めていけるようにする。

6. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	評価(☆)と支援(○)
6月11日(水) 休み時間	提案者と司会グループと担任で、議題の確認をし、話し合いのめあてや役割分担の計画を立てる。	○提案者が議題を提案した理由を明確にして、学級会に向けて統一したイメージをもてるようにする。 ○役割を確認し合い、学級会の進め方が理解できるようにする。 ☆学級会に向けて進んで準備をしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
6月12日(木) 朝	議題と提案理由、話し合いの柱を学級に伝え、議題に対するアンケートを取る。	○提案者の思いを伝え、一人一人が自分の考えをもてるようにする。 ○話し合いの柱を確認し、学級会へのイメージがわくようにする。 ☆提案理由とめあてを意識し、自分の考えをカードに書いている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月13日(金) 特活タイム	アンケートを集約する。 柱1「集める」段階の意見を精選する。 出てきた意見を学級会コーナーに掲示する。	○提案理由やめあてに沿った意見かどうかを確認する。 ○意見を分類整理し、話し合いの流れを確認する。
6月16日(月) 休み時間	提案者と司会グループと担任で学級会の流れを話し合い、役割分担にしたがってシュミレーションする。	○流れを確かめられるように学級会の場面を一緒にイメージしていく。 ☆担任とともに、学級会の進め方を考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

(2) 本時の活動

- ①ねらい 1年生がもっと学校を好きになるような集会の計画を立てることができる。
- ②本時の視点 指導者の助言、指導の入り方は適切であったか。
相手の意見を受け止めた、つながりのある発言があったか。
- ③活動計画 別紙
- ④活動の留意点

児童の活動	評価 (☆) と支援 (○)
<p>1. はじめの言葉</p> <p>2. 司会グループの紹介</p> <p>3. 議題、提案の理由、話し合いのめあての確認 議題: 「1年生学校大好き集会を計画しよう」 提案理由: 1年生のお手伝いをして自分たちも成長したし、1年生も喜んでくれた。今度は1年生がもっと学校を好きになってくれるように、学校のことを教えてあげたいから。 めあて: 1年生とかかわりながら、学校のことを紹介しよう。</p> <p>4. 決まっていることの確認 決まっていること ・日時 6月30日(月) 2時間目 ・場所 体育館</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>プログラム</p> <p>1. はじめの言葉</p> <p>2. (30分)</p> <p>3. 1年生から</p> <p>4. 感想</p> <p>5. 先生のお話</p> <p>6. 終わりの言葉</p> </div> <p>・プログラムの2番でやる。(30分間) ・1年生は、2クラス合同で行う。</p> <p>5. 話し合い 柱1 紹介すること ① 集める (事前) ② 比べる ③ まとめる</p>	<p>○見通しをもって会を進められるように、学級会カードや司会台本、黒板記録計画で、進め方や記録の仕方を事前に確認する。</p> <p>○自信をもってはっきりと話ることができるように、司会台本を用意し、必要に応じて話す言葉などを助言する。</p> <p>☆司会グループとして自分の役割を果たしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)</p> <p>○事前に集まった意見を短冊に書いて提示しておき、「比べる」段階から始める。</p> <p>○話し合いのめあてからそれた場合には、めあてを意識しながら話し合ったり決定したりできるように</p>

<p>柱2 紹介する方法</p> <p>①集める ②比べる ③まとめる</p> <p>6. 決まったことの確認</p> <p>7. ふりかえりタイム</p> <p>8. 先生の話</p> <p>9. 終わりの言葉</p>	<p>全員に助言する。</p> <p>○目安の時刻を提示しておくことで、時間意識をもって話し合いを行えるようにする。</p> <p>○司会が話し合いの進め方などでつまづいているときは、みんなに問いかけたり助言したりする。</p> <p>☆友達の見解を認めたり、うなずいて聞いたりしている。(集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○ふりかえりタイムでは、自分の思いや学級会全体の話し合いの様子をふりかえるように声をかける。</p> <p>○教師の話では、意見のよさを生かそうとした発言や、つながりのある発言、めあてに沿った発言などを取り上げて称賛し、実践への意欲づけを行う。</p>
--	---

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	評価(☆)と支援(○)
<p>6月19日(木) ～27日(金) 特活タイム 休み時間</p>	<p>分担を決め、準備を進める。</p>	<p>○自分の役割を意識できるように、決まった計画を学級会コーナーに掲示しておく。</p> <p>○相手意識をしっかりともち、準備が進められるように声をかける。</p> <p>☆学級の一員として自己の役割を意識し、助け合っている。</p> <p>(集団の一員としての思考・判断・実践)</p>
<p>6月30日(月) 帰りの会</p>	<p>活動を実践する。 実践をふりかえり、感想を交流する。</p>	<p>○ふりかえりの場面では、話し合いや準備についてもふれ、全員で作上げたことを実感することができるようにする。</p> <p>☆話し合いで決めた内容を理解し、友だちと協力して取り組んでいる。</p> <p>(集団の一員としての思考・判断・実践)</p>